

株式会社ヤクルト本社

第64期 **株主通信**

平成27年4月1日～平成28年3月31日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 09 特集1「続ける理由が、ありすぎる。」
- 11 特集2「確かな理由が、ありすぎる。」
- 13 商品紹介
- 19 ヤクルトのネットワーク
- 21 会社情報



To Our Shareholders / Highlights of Consolidated

ごあいさつ



代表取締役会長 CEO

堀 澄也



代表取締役社長 COO

根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、直近ではアジア新興国や資源国の景気下振れの影響など、海外経済の不確実性が強まる状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、海外事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

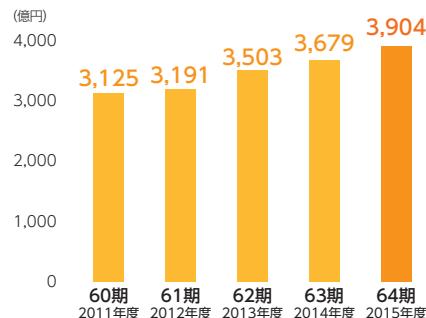
この結果、当連結会計年度の連結売上高は3,904億円(前期比6.1%増)となりました。利益面におきましては、営業利益は400億円(前期比14.8%増)、経常利益は506億円(前期比11.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は288億円(前期比15.1%増)となりました。

次期について

日本国内における乳製品については、主力商品である「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、機能性および高

連結業績 ハイライト

●売上高



Financial Results

● 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト ●

級感がより伝わるパッケージへのリニューアルおよび価格改定を実施しました。これを機に、さらなる「価値普及」活動の推進および当社の研究開発や技術力の高さの訴求により、一層のブランド活性化を図ります。

海外においては、32の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っています。

既存事業所については、さらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。

医薬品については、がん領域で培った情報提供力と、これまで築き上げてきた医療関係者との信頼関係により、引き続き当社製品を選択していただけるよう努めるとともに、抗悪性腫瘍剤「エルプラット」の胃がん領域における早期の市場拡大と、後発医薬品群のさらなるシェア獲得に注力していきます。

	当期	次期の見通し
売上高	3,904 億円(前期比 6.1%増)	3,890 億円
営業利益	400 億円(前期比 14.8%増)	365 億円
経常利益	506 億円(前期比 11.0%増)	460 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	288 億円(前期比 15.1%増)	280 億円

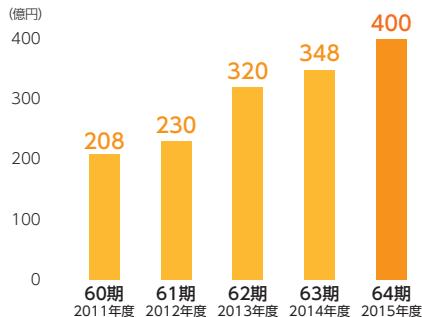
配当について

当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額20円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

平成28年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり5円増配の年額30円としました。これに加え、平成28年3月期が当社グループ創業80周年を迎える年であったことから、株主の皆さまの日頃のご支援に対する感謝の意を込め、1株当たり20円の記念配当を実施し、普通配当と合わせた1株当たりの配当金額を前期の倍となる年額50円とすることとしました。すでに中間配当金25円を実施していますので、平成28年3月期末の配当金については25円となります。

また、次期の配当については、上記方針における年額20円のベースを30円に引き上げるとともに、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、当期の普通配当に比べて1株につき2円増配の年額32円を予定しています。

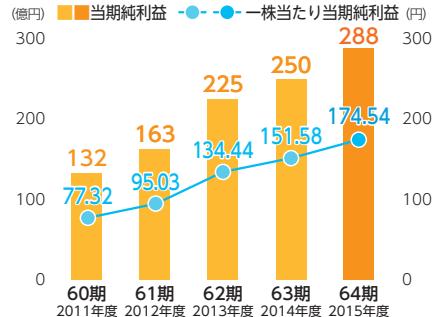
● 営業利益



● 経常利益



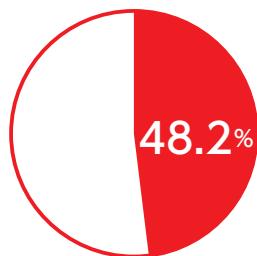
● 親会社株主に帰属する当期純利益／一株当たり当期純利益



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

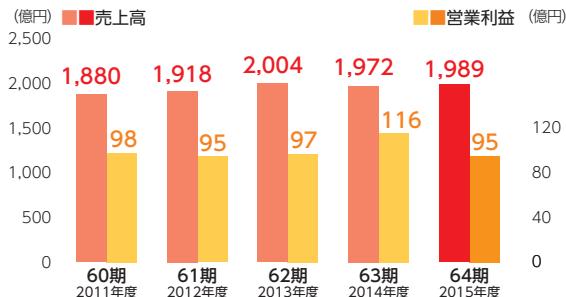
1,989 億円

(前期比: 0.9% ▲)

営業利益

95 億円

(前期比: 18.0% ▼)



乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」の科学性を広く訴求することに注力し、エビデンスを活用した「価値普及」活動を積極的に展開しました。また、お客さまへの感謝の意を込めた「創業80周年感謝企画」を実施するなど、お客さまとのより一層の関係強化を図りました。

宅配チャネルにおいては、主力商品である乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を中心とした「価値普及」活動によるお客さまづくりに取り組みました。また、ヤクルトレディのテレビCMをはじめとした広告出稿などを積極的に展開し、ヤクルトレディの採用活動を継続的に支援することで、宅配組織の強化に努めました。

店頭チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルト カロリーハーフ」を中心に、プロモーションスタッフを活用したお客さまへの「価値普及」活動を展開しました。

商品別では、のむヨーグルト「ジョア」をリニューアルし、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とのライセンス契約に基づき、ディズニーキャラクターを用いたパッケージで発売しました。また、はっ酵乳「ミルミル」および「ミルミルス」のリニューアルを実施し、商品価値の向上と鮮度アップを図りました。

ジュース・清涼飲料については、栄養ドリンク「タフマン」シリーズや「ヤクルトの乳性飲料ミルージュ」シリーズなどをリニューアルすることで、ブランドの活性化を図りました。

2016

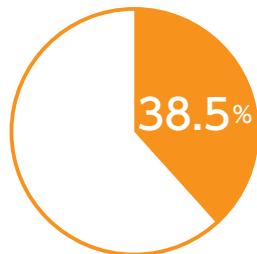
NEWS & TOPICS

「毎日飲むヤクルト」を全国のセブン-イレブンで販売開始

「毎日飲むヤクルト」は、年齢とともに健康維持が気になるビジネスパーソンをサポートする乳製品乳酸菌飲料です。2015年11月に首都圏地区限定(1都3県)で発売して以来、徐々に販売エリアを拡大してきました。先行で販売したエリアでのリピート購入率が高く、販売実績が好調に推移しているため、販売エリアを全国に拡大し、2016年5月10日より全国のセブン-イレブンで販売を開始しました。



飲料および食品製造販売事業部門（海外）

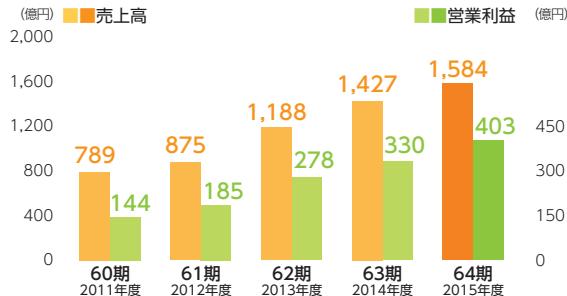


売上高構成比

当期

売上高
1,584 億円
(前期比: 11.0% ▲)

営業利益
403 億円
(前期比: 22.3% ▲)



米州地域

売上高 **527** 億円 (前期比: 3.5% ▼)

米州地域においては、ブラジル、メキシコ、米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

メキシコにおいては、健康志向の高まりとともに、糖分や脂肪分を抑えた食品の普及が進む中で、ドリンクタイプヨーグルト「ソファール」をカロリー低減タイプの「ソファールLT」に変更し、販売を開始しました。

アジア・オセアニア地域

売上高 **971** 億円 (前期比: 22.7% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

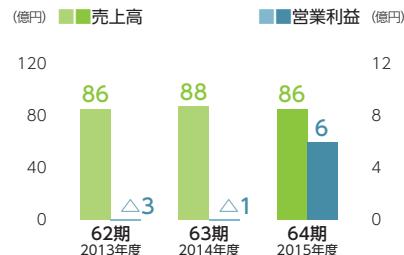
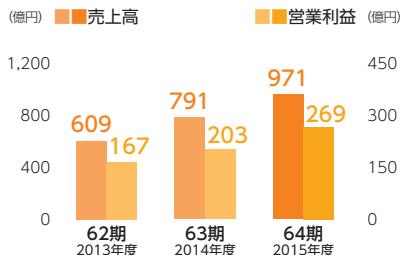
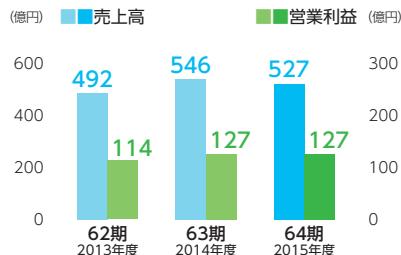
中国においては、「ヤクルト」の販売本数増加に伴い、無錫工場(無錫ヤクルト株式会社)での生産を開始しました。また、広州ヤクルト株式会社、中国ヤクルト株式会社および上海ヤクルト株式会社で、カロリー低減タイプの「ヤクルトライト」の販売を開始しました。

ヨーロッパ地域

売上高 **86** 億円 (前期比: 3.0% ▼)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストラリアおよびイタリアなどで販売しています。

スイスにおいては、「ヤクルト」が、スイス連邦公衆衛生総局の健康強調表示(ヘルスクレーム)に関する審査制度において、「おなかの正常な機能維持に貢献する」旨の表示許可を取得しました。これにより、スイスにおける「ヤクルト」などのさらなる普及に努めていきます。



Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

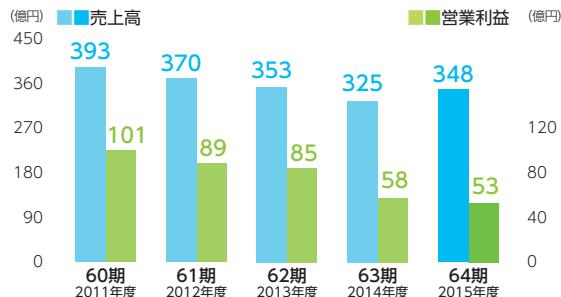
348 億円

(前期比: 6.9% ↑)

営業利益

53 億円

(前期比: 8.2% ↓)



医薬品については、国内において、抗悪性腫瘍剤「エルプラット」の治癒切除不能な進行・再発大腸がんに対する標準療法および大腸がん術後補助化学療法の啓発活動や、抗悪性腫瘍剤「カンプト」「エルプラット」および活性型葉酸製剤「レボホリナートヤクルト」を含む膀胱がんFOLFIRINOX療法の適正使用を推奨する活動を推進しました。また、「エルプラット」では、胃がんの術後補助化学療法に対する効能・効果の追加承認を取得し、既に承認されていた進行・再発胃がんへの適応と合わせ、効能・効果が「胃がん」となりました。そのほか、代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」、抗悪性腫瘍剤「イマチニブヤクルト」、骨吸収抑制剤「ゾレドロン酸ヤクルト」

」およびタキソイド系抗悪性腫瘍剤の後発医薬品「ドセタキセルヤクルト」などの販路拡大に努め、売り上げの増大を図りました。

研究開発では、4SC AG社から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」、エテルナゼンタリス社から導入しているPI3K/Akt阻害剤「ペリフォシン」および日産化学工業株式会社と共同開発契約を締結した血小板増加薬「NIP-022(当社開発コードはYHI-1501)」などの開発パイプラインの開発を推進しました。これらにより、今後、がんおよびその周辺領域において、さらなる強固な地位の確立を目指します。

2016

NEWS & TOPICS

「Newヤクルト6本パック」を全国のコンビニで販売

「Newヤクルト6本パック」は、コンビニエンスストア対応商品として、2015年10月より関東地区(1都6県)で導入を開始し、順次、導入エリア拡大を図ってきました。販売実績が好調なことから、2016年4月より、北海道、東日本へ導入エリアを拡大し、全国のコンビニエンスストアでの展開となりました。



その他事業部門



売上高構成比

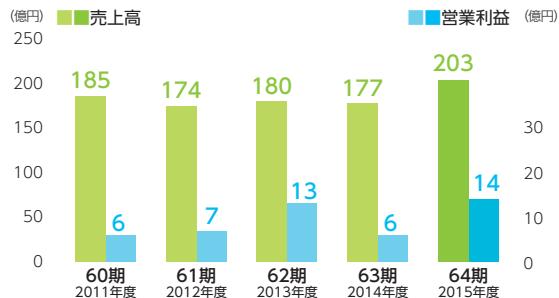
当期

売上高

203 億円
(前期比: 14.2% ▲)

営業利益

14 億円
(前期比: 110.0% ▲)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」に重点をおき、基礎化粧品の主力ブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開しました。

また、昨年4月には「保湿」に加え「抗糖化」に着目した「S.E.」を配合し、お肌へのはたらきを高めた「プラチナケアS.E.ロー

ション」を、同年11月にはヤクルトの長年にわたる乳酸菌研究と肌構造研究の成果を結集し、さらなる進化を遂げた保湿成分「ラメラ粒子」を配合してフルモデルチェンジした「パラビオ」スキンケアアシリーズを発売し、売り上げの増大を図りました。

一方、プロ野球興行については、東京ヤクルトスワローズがリーグ優勝および日本シリーズ進出を果たすことができました。また、神宮球場において各種イベントを通じたファンサービスやさまざまな情報発信を行った結果、入場者数および売り上げがともに増加しました。

「ヤクルト400」類マルチパックのデザインをリニューアル

宅配専用商品の乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」、「ヤクルト400LT」は、発売以降、健康意識の高い方を中心に多くの支持をいただいています。このたび、7本マルチパックのパッケージデザインをリニューアルしました。従来のデザインを踏襲しつつ、より高級感のあるデザインとなり、「乳酸菌シロタ株」の効果をよりわかりやすく記載しているのがポイントです。



Consolidated Financial Statements

▶ 連結貸借対照表

単位：億円

科目	第63期	第64期
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,259	2,216
固定資産	3,533	3,559
有形固定資産	2,055	2,017
無形固定資産	64	53
投資その他の資産	1,413	1,487
資産合計	5,793	5,775
負債の部		
流動負債	1,157	1,116
固定負債	1,014	1,004
負債合計	2,171	2,120
純資産の部		
株主資本	2,999	3,221
資本金	311	311
資本剰余金	415	415
利益剰余金	2,680	2,907
自己株式	△407	△412
その他の包括利益累計額	250	96
その他有価証券評価差額金	207	244
為替換算調整勘定	50	△112
退職給付に係る調整累計額	△8	△36
非支配株主持分	371	336
純資産合計	3,622	3,654
負債・純資産合計	5,793	5,775

▶ 連結損益計算書

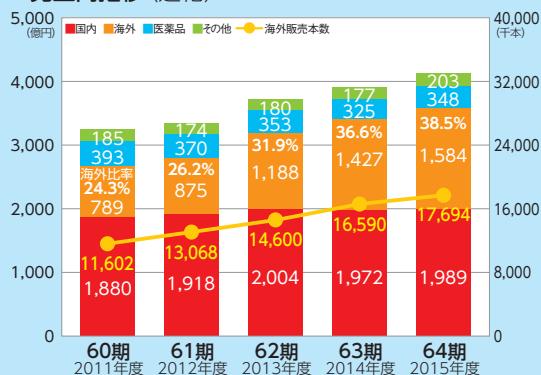
単位：億円

科目	第63期	第64期
	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	3,679	3,904
売上原価	1,649	1,716
売上総利益	2,029	2,188
販売費及び一般管理費	1,680	1,787
営業利益	348	400
営業外収益	124	123
受取利息	26	28
受取配当金	13	15
持分法による投資利益	33	33
その他	50	45
営業外費用	16	17
支払利息	8	9
支払補償費	3	4
その他	5	3
経常利益	456	506
特別利益	6	5
固定資産売却益	5	4
その他	0	0
特別損失	10	13
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	8
減損損失	1	1
その他	1	4
税金等調整前当期純利益	451	497
法人税、住民税及び事業税	114	121
法人税等調整額	31	29
当期純利益	305	346
非支配株主に帰属する当期純利益	54	58
親会社株主に帰属する当期純利益	250	288

平成28年3月期のポイント

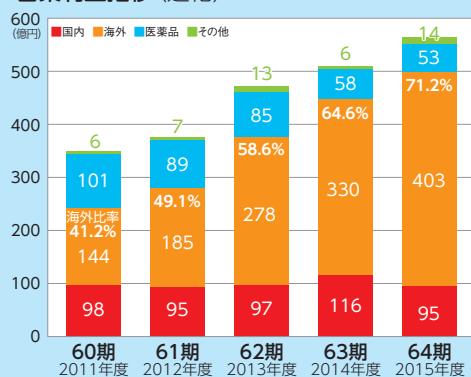
1. 全体では売上高・各段階利益ともに過去最高を更新し、増収・増益
2. 国内飲料は乳製品の販売本数の増加および価格改定効果があったものの、販売費等の増加により、増収・減益
3. 海外飲料はアジアを中心とした販売本数の増加およびアジアの為替の円安効果等により、増収・増益
4. 医薬品は前期エルプラットの消費増税による売上反動減からの実績回復があったものの、販売費等の増加により、増収・減益

■ 売上高推移 (連結)



(注) セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。

■ 営業利益推移 (連結)



(注) 全社費用等の調整前金額で表示しています。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	第63期	第64期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	554	621
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△500	△374
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△150
現金及び現金同等物に係る換算差額	42	△112
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	79	△16
現金及び現金同等物の期首残高	956	1,034
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,034	1,017

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益497億円、減価償却費243億円があった一方、法人税等の支払額が134億円あったこと等により、621億円(前期比67億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に生産設備および研究設備の新設等による固定資産の取得があったことにより△374億円(前期比126億円の支出減)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金および長期借入金の返済に加え、配当金の支払い等があったことにより△150億円(前期比133億円の支出増)となりました。

▶ より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料をご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

続ける理由が、ありすぎる。

宅配専用「ヤクルト400」の価値

発売以来、多くの皆様に日々ご愛飲いただいている宅配専用商品「ヤクルト400」。幅広い世代のお客さまから支持されています。そこには毎日飲み続ける理由があります。



続ける理由①

乳酸菌 シロタ株 が400億個

ヤクルトの生みの親である医学博士、代田 稔が1930年に発見し、培養に成功したのが乳酸菌 シロタ株(L.カゼイ YIT 9029)です。「ヤクルト400」には、そのシロタ株が1本(80ml)につき400億個含まれ、乳酸菌のチカラを身体にしっかりお届けします。



続ける理由②

生きて 腸にとどく

通常の乳酸菌は飲用しても、腸内に到達する前に死んでしまいますが、独自技術で強化培養された乳酸菌 シロタ株は、胃液や胆汁などの強い消化液に耐え、生きのまま腸内に到達します。人の便からの検出によって、その強さは実証されています。



続ける理由③

良い菌を増やす

人間の腸内にすんでいるビフィズス菌は、糖を分解して強い殺菌力を持つ酢酸やビタミンB群などを作り出す善玉菌です。乳酸菌 シロタ株が作り出す乳酸が腸の中を酸性に保ち、ビフィズス菌など身体に良い働きをする菌がすみやすい環境になることが明らかになっています。



続ける理由④

悪い菌を減らす

乳酸菌 シロタ株が生み出す乳酸により、腸の中が酸性に保たれる効果は、良い菌を増やすだけでなく、悪い菌を減らすメリットももたらします。研究の結果、乳酸菌 シロタ株の飲用によって、腸内から検出される大腸菌群が著しく減少することが確認されました。





続ける理由⑦ 特定保健用食品

特定保健用食品(トクホ)とは、消費者庁長官の許可を受け、「おなかの調子を整える」などの保健効果を表示することができる食品です。もちろん「ヤクルト400」も特定保健用食品として許可されており、許可表示内容を通じて、その優れた効果を伝えています。



続ける理由⑥ おなかの調子を整える

生きたまま腸内まで届く乳酸菌 シロタ株は、良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善するのでおなかの調子を整えてくれます。毎日を快適に過ごすために、継続的な飲用をおすすめします。



続ける理由⑤ 腸内環境を改善する

人の腸の中にはさまざまな悪い菌が作る有害物質が存在していますが、乳酸菌 シロタ株は悪い菌を減らし、腸内環境を改善する効果を発揮します。研究の結果、乳酸菌 シロタ株の飲用によるインディカン(発がん促進作用がある有害物質が肝臓で変化したもの)の減少が確認されています。

気になるカロリーをカット!

ローカロリータイプのヤクルトが好評

健康な身体づくりへの関心が高まる中で、日々のカロリーコントロールを心掛けている方が増えています。毎日ヤクルトを飲みたいけれど、カロリーが気になるというお客さまのために、ローカロリータイプのヤクルトをご用意。高いご評価をいただき、人気商品となっています。



ヤクルト400LT

シロタ株



400億個の乳酸菌 シロタ株による特定保健用食品としての効果はそのままに、「ヤクルト400」に比べ、カロリーを30%カット。甘さひかえめの味に仕上げた、毎日気軽に飲める商品です。

Newヤクルト カロリーハーフ

カロリーと甘さが気になる方におすすめです。「Newヤクルト」に比べて、カロリー・糖質を50%カットし、すっきりとした風味に仕上げました。乳酸菌 シロタ株が1本(65ml)に200億個含まれています。



シロタ株

「ヤクルト400」のお申込み・お問合せは

ヤクルトお客さま相談センター

0120-11-8960

受付時間 9:00~17:30
(土・日・祝日・年末年始は除く)

シロタ株

検索

確かな理由が、ありすぎる。

※対象とした「論文」とは、2016年4月現在までに、専門的知識を有する第三者により内容が認められたもの。原著論文等。

「科学するヤクルト」に注目

ヤクルトの成長を支えているのは、長年にわたる基礎研究を応用し、飲用効果による商品の高付加価値化を目指す取り組みです。その研究開発現場では、常に科学的根拠に基づく「確かな理由」が求められます。

腸にいい理由

整腸に関する研究論文 **129報**

乳酸菌 シロタ株が腸の中で「ビフィズス菌などの良い菌を増やす」「大腸菌などの悪玉菌を減らす」「排便状況が改善される」「有害物質の生成を抑える」「大腸ポリープの発生を低減する」といった効果を発揮することが、多くの研究論文で報告されています。

カラダを強くする理由

免疫調節に関する研究論文 **177報**

「低下したNK活性(免疫力の指標として用いられるナチュラルキラー細胞の強さ)が上昇した」「上気道感染症(風邪やインフルエンザなど)の発症回数が約半分に減少した」といった乳酸菌 シロタ株の飲用による効果を実証され、研究論文で発表されています。

流行る季節にいい理由

感染防御に関する研究論文 **107報**

乳酸菌 シロタ株の飲用効果は、上気道感染症の発症回数減少などの免疫調整機能にとどまりません。「外科手術患者の感染予防に関する研究」「高齢者のノロウイルス感染予防に関する研究」といった多くの論文において、多様な感染予防効果が確認されています。

開発力を支える理由

基盤研究をはじめとしたさまざまな研究論文 **1005報**

ヤクルトの研究開発は、長年にわたり積み重ねられてきた多くの基盤研究の上に成り立っています。基盤研究の代表的な論文には「腸内細菌と腸管免疫に関する研究」「腸内細菌の分析方法に関する研究」などがあり、論文の総数は1,005報にも及んでいます。



4つの理由と研究論文



ヤクルトの
研究開発従事者たち
404人

基盤研究所、微生物研究所、食品研究所、医薬品研究所、化粧品研究所、安全性研究所、分析試験研究所などの先進的な拠点で精鋭スタッフが従事。ヤクルトを生んだ代田 稔博士の意思を受け継ぎ、人々の健康に寄与するために日々新たな挑戦を行っています。(2016年4月現在)



科学で価値づくりを支える 新中央研究所が全棟完成!

2016年4月15日、中央研究所における研究棟の建築工事が終了し、新規設備が全棟完成しました。中央研究所では、5つの研究棟（研究管理棟、基礎研究棟、食品研究棟、医薬品・化粧品研究棟、品質・技術開発棟）の新設工事と、最新鋭の研究機器・設備の設置、研究環境の整備を進めてきました。今後、新規設備の活用により、腸内フローラやプロバイオティクスなどの基礎研究および食品、医薬品、化粧品の商品化研究を加速させていきます。



株主通信次号で詳細をお伝えします。

Product Lineup

ヤクルト類



▲ New
ヤクルト



▲ Newヤクルト
カロリー-half



▲ヤクルト
400



▲ヤクルト
400LT



▲ヤクルト
ゴールド



▲ヤクルト
Ace



▲毎日飲むヤクルト
(セブン-イレブン限定)

その他の乳製品



◀ミルミル

大腸ではたらくビフィズス菌を、1本(100ml当たり)に120億個以上含んだ、のむヨーグルトです。飲みやすいミルク風味に仕上げています。



◀ミルミルS

大腸ではたらくビフィズス菌を1本(100ml当たり)に120億個以上含んだ、のむヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、鉄、葉酸、コラーゲンなどが摂取できます。すっきりとしたヨーグルト風味です。



◀BF-1

ストレス社会で生きる、現代人のために開発した、ビフィズス菌(B.ビフィダム Y株)を使用した、乳製品乳酸菌飲料です。

▶プレティオ▶

血圧降下作用を有するGABA(γ-アミノ酪酸)を1本に10mg以上含む、血圧が高めの方におすすめの乳製品乳酸菌飲料です。



▼乳酸菌ソイα



▼ジョア (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、マスカット)
生きて腸まで到達する乳酸菌 シロタ株が入った、のむヨーグルトです。



▶ジョア▶
(食べるタイプ)
(アロエ、ブルーベリー)



▼ソファール (プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)



ジュース・清涼飲料



◀ 蕃爽麗茶
◀ 蕃爽麗茶
香ばし風味

グアバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した健康茶飲料です。



▲アヤムラサキ ▲爽涼健茶 ▲タフマンシリーズ (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、タフマンDRY)



◀ 白い黒酢ドリンク

▼ オリゴ糖入り
梅ドリンク



▲黒酢ドリンク

純米熟成黒酢とうめ果汁を組み合わせ、ガラクトオリゴ糖を1個当たり2.5g含んだ特定保健用食品のビネガードリンクです。

▼ぎゅっと健康シリーズ
(アスタキサンチン、カシス、グルコサミン、紫蘇)



(期間限定)

▼ CHOBI(チョビ)



▲レモリア

テアニン(緑茶の旨味成分)を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。

▼ヤクルトの乳性飲料
ミルージュシリーズ

(Ca125、200、280、ミルージュ(500ml)、ホワイトソーダ)



▼ラックミーシリーズ
(コーヒー、バナナ)



▼調製豆乳
国産大豆使用



Product Lineup

ジュース・清涼飲料



▲お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲マイルドシリーズ
(カフェ・オ・レ、いちご・オ・レ、
抹茶・オ・レ)



▲ココア
(期間限定)



▲コーン
ポタージュ
(期間限定)

▼きになる野菜シリーズ (パインキャロット、ホワイトグレープキャベツ、
100シリーズ: 緑黄色野菜ミックス、紫野菜ミックス、手軽に野菜1日分)



▼野菜ジュース
野菜ジュース(食塩無添加)



▼トマトジュース
(数量限定)



▼搾りたて
にんじん
(数量限定)



▼(左から) みかん・オレンジジュース、アップルジュース、
パイナップルジュース、グレープフルーツジュース



▼完熟王林
(数量限定)



▼ホットゆず
&日向夏
(期間限定)



▼さっぱりシリーズ
(りんご、白ぶどう Sparkling、
レモン Sparkling)



ミネラルチャージ▶



健康食品



▲毎日うれしい
ケールの青汁



▲ごくごく飲める
大麦若葉

▼ローヤルゼリー



▼サプリズムシリーズ (コラーゲン、PS、フコイダン、ブルーベリー&ルテイン、グルコサミン、マルチビタミン&ミネラル、DHA&EPA)



めん類

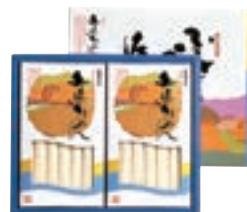
▼麺許皆伝シリーズ
(しょうゆ味、みそ味、しお味、
ソース焼そば、カレーラーメン)



▼神崎めんシリーズ
(そうめん、ひやむぎ、
中めん、うどん、そば)



▼手延べそうめん



▼乾麺物語シリーズ
(とんこつしょうゆらーめん、
カレーうどん、汁なし担々麺、
冷し中華(期間限定))



Product Lineup

医薬品

医療用医薬品



▲カンプト

▲エルプラット



▲シスプラチン ▲ゲムシタビン



その他

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬

▲ヤクルトBL 整腸薬S錠



▲アロエ便秘薬



▲71のチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシィホワイト



▲リベシィ

メイクアップ



◀パラビオ



◀プラチナケア
S.E.ローション



▶ラクトデュウ
S.E.ローション



▼ラクトデュウ
S.E.ヒアルロン
ジェル

▼ヤクルト
ビューティエンス
プリリアント
~ザ クリーム~



▶グランティアEX



◀エジティックス
モイストリペア
エッセンス



▶ビスイクル
リフトリペア
エッセンス



▶パラビオ
ACクリーム
サイ



◀クリスタンス
ホワイトリペア
エッセンス

ボディケア

POSHMAMA
シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)ファミリーサンスクリーン®



Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む33の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
世界中で毎日3,500万人を超える方々(平成28年3月期 1日平均販売本数3,540万本)に
ご愛飲いただいています。

【世界の販売本数】



海外：2015年1月～12月の1日当たり平均本数
日本：2015年4月～2016年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶国と地域：12

▶1日当たりの販売本数：59万本

ヨーロッパ地域

- フランス
- スペイン
- オランダ
- ベルギー
- ルクセンブルク
- イギリス
- アイルランド
- ドイツ
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶国と地域：6

▶1日当たりの販売本数：576万本

米州地域

- ブラジル
- ウルグアイ
- メキシコ
- ベリーズ
- アメリカ
- カナダ

JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：891万本

ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶国と地域：14

▶1日当たりの販売本数：2,014万本

- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- ニュージーランド
- マレーシア
- ベトナム
- インド
- 中国



株式会社ヤクルト本社



ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5

◆研究所：1 ▲工場：7

●販売会社 113社

(うち連結子会社 24社)

ヤクルトレディ 約 36,500人

ヤクルトビューティ 約 5,700人

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトイースト・ロジスティクス株式会社
- ヤクルトウエスト・ロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 京北ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

Information

会社概要

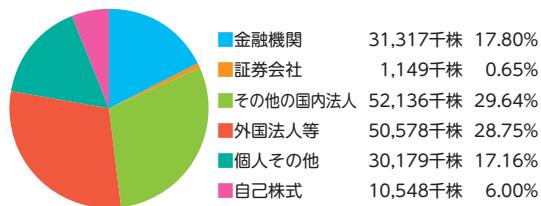
商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,872人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者311人および嘱託141人を含んでいます。

株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株
発行済株式総数…………… 175,910,218株
株主数…………… 28,407名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成28年6月22日現在)

代表取締役会長 CEO	堀 澄也	取締役	リチャード ホール	常勤監査役	阿部 晃範
代表取締役社長 COO	根岸 孝成	取締役	安田 隆二	常勤監査役	山上 博資
取締役	川端 美博	取締役	福岡 政行	監査役	奥平 哲彦
取締役	成田 裕	取締役	ペトラドオースイ	監査役	谷川 清十郎
取締役	伊藤 正徳	取締役	フィリップケゲルス	監査役	小林 節子
取締役	若林 宏	取締役	松園 直史	監査役	吉田 宏一
取締役	石川 文保	取締役	前田 典人	監査役	手塚 仙夫
取締役	田中 正喜				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
パークレイズバンクピーエルシー シンガポール ノミニー ダン プロバイオティクス プライベート リミテッド	35,212	20.02
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.82
松尚株式会社	4,917	2.80
共進会	4,462	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,806	1.60
キリンビバレッジ株式会社	2,458	1.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,397	1.36
株式会社みずほ銀行	2,186	1.24
中村輝夫	2,031	1.15

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。
上表のほか、当社は自己株式10,548千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を1品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品3品(「ジュース詰め合わせ」「乾めん詰め合わせ」「化粧品」)のうち**好きな商品を2品**進呈(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は7月下旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で開催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

※外野自由席の販売がない試合(全席指定試合)はご利用できません。

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 年間24ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間4ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (神田錦町三丁目ビルディング6F)
(郵便物送付先) (連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に申し出てください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960 (大代表) <http://www.yakult.co.jp/>

